

あげおヒューマンライツミーティング 2 1

平成 23 年 12 月 10 日、市主催事業である「あげおヒューマンライツミーティング 21」の分科会に協力参加してきました。分科会では「世界がもし 100 人の村だったら」の本を元に作成されたワークショップを行いました。

このワークショップは、ゲームを通じて世界の人口や男女比、世界と日本の高齢化率の違いや識字率などを学ぶことができる体験型



プログラムをメインにして行われました。ゲームを成立させるためには、最低でも 13 人以上が必要（最大 50 人の参加可）なことから、最少催行人数を集めることができるか！やや不安でした。ところが、幸いにも 20 人と多数の皆さんに参加いただき、非常に有意義な時間を共有することができました。しかし、通常であれば、2 時間くらいかけて行わなければならないプログラムのところを、今回は体験版として、およそ 1 時間に縮小して実施したため、細かい説明を省略しなければならなかった点がやや残念でした。

右下の写真は、「文字を読めないこと」をテーマに参加者に寸劇をやった時の様子です。アジアの農村を舞台に、文字の読めない母親が、具合が悪くなった娘に薬を与えようとするのですが、文字が読めないとどうなるのか…ということに参加者に加わってもらい、文字が読めないことを感じてもらうという試みです。積極的に参加していただけ良かったです。

